



@TOKAI_YAMAGATA_KOHO



ホームページ

第9号 発行日 2026年2月28日

高校現代文明論 探究学習の成果発表会を行いました

年度末が近づき、1学年と3学年による「高校現代文明論 探究学習の成果発表会」を実施しました。年間を通して取り組んできた探究学習の集大成を披露する場として、多くの生徒が主役となり、学びの成果を共有する貴重な機会となりました。

◆ 3学年の学習内容 ◆

12月17日（水）の5・6校時に、広々とした体育館を会場に、各グループが制作した模造紙の成果物を壁面にずらりと掲示し、発表を行いました。体育館の壁一面に広がるカラフルな資料は、それぞれの探究テーマに対する熱意と工夫が感じられるもので、会場に入った瞬間から発表会への期待が高まりました。1グループ10分間の発表を8セットに分けて行い、うち2セットは自分たちの発表、残り6セットは他グループの発表を聴く時間として設定されました。生徒たちはそれぞれの場所で発表を行い、聞き手として参加する場面では積極的に質問をするなど、発表者とオーディエンスが互いに学び合う姿勢が随所に見られました。また、**1学年はオーディエンスとして参加**し、質疑応答の時間には鋭い質問や新たな視点からの意見が飛び交い、会場が活気づきました。

発表テーマは、人の信条や価値観といった哲学的な内容から、動物・昆虫・植物や自然環境、さらには数学的アプローチや科学的実験・分析まで、非常に幅広く、まさに「**高校現代文明論**」という科目名にふさわしい多様性に富んだものでした。それぞれが興味関心に基づいて調べ、考え、まとめてきた成果が存分に発揮されており、どのブースでも生徒が主体的に説明し、真剣に聴く姿が印象的でした。

12月20日（土）には選抜された8グループによる学年発表会が行われました。以下がそのテーマとグループです。

◆ 「山形のバスの不便さを解消するためにできること」

柴田好誠さん 須貝泰斗さん 久松由虎さん

◆ 「米の値上がりについて」

山口真人さん 佐藤新さん 芳賀維月さん 橋間日々輝さん 村上達紀さん 笠原大輔さん

◆ 「ペットの殺処分について」

安部和花さん 矢作優衣さん 鎌倉陽向さん 東海林真花さん

◆ 「看護医療組織の持続可能性のための社会・組織システムについて」

大友佐和さん 梅津愛生さん 石沢琉音さん 酒井優花さん

◆ 「フードロス」

木村美吏さん 白田乃愛さん 菊地由愛さん 金子碧瞳さん 村岡紅空さん

◆ 「大人のいじめ」

金内結菜さん 鏡璃奈さん

◆ 「映像娯楽による人の心情と技術の変化」

信夫結衣さん

◆ 「睡眠メカニズムと科学的に睡眠の質を高める方法」

朽木良太郎さん



◆ 1 学年の学習内容 ◆

2月25日(水)の6時間目に、探究学習のまとめとしてポスター発表会を行いました。校舎3階の教室や廊下に展示されたポスターを、生徒と教員が、自由に観覧し、面白い視点でまとめられているポスターにシールを貼りつけていきました。ポスター資料の他に、動画を準備した班があり、今年度導入した StarBoard や プロジェクターを利用して見てもらいました。生徒も教員も共に、発表資料の前で足を止めて、真剣に読んでいる姿が印象的な時間となりました。



「蔵王かぼちゃを全国へ」 南東北エリア予選を突破、最終審査へ

本校の1学年「高校現代文明論」では、SDGsをテーマに学習を進めています。クラス担任がSDGsの各ゴールを題材に1時間完結の授業を創作し、リレー形式で各クラスを巡回するオムニバス方式を採用している点が特色です。多様な視点から持続可能な社会について考えることで、より深い学びを促しています。これらの学習の総括として、生徒たちはミニ探究に取り組み、「SDGs QUEST みらい甲子園」へエントリーします。今年度は、北谷博人さん（山形六）、斉藤晴太さん（山形六）、皆川翔さん（赤湯）、渡部明晟さん（上山南）の4人が結成した「かぼちゃーズ」が南東北エリア大会予選を通過し、ファイナリストとして最終審査に残りました。

4人は「蔵王かぼちゃ祭」にボランティアとして参加したことをきっかけに、生産者の二ノ戸新太さんと交流を持つようになりました。その後、二ノ戸さんにインタビューをしたところ生産者の課題として「担い手・後継者不足」が深刻であることが挙げられました。そこで4人は「蔵王かぼちゃの特徴や、調理方法などの認知度を高めることで販売促進され、その需要に合わせて生産者が増加する」という仮説を立てて、解決のためのアクションプラン作成を行いました。それが評価につながり、最終審査に残ることができました。

南東北エリア大会ファイナルセレモニーは、3月8日（日）13:30～17:00、山形市民会館大ホールにて行われます。



山形県高校生フォトコンテスト 荒木悠真さん 二席入賞！

12月13日（土）山形芸文美術館にて開催された「山形県高校生フォトコンテスト」において本校写真部の荒木悠真さん（上山南）の作品「雨の日」が二席に入賞しました。荒木さんは日頃から風景や学校行事の撮影に熱心に取り組んでおり、今回の作品もその観察力と表現力の高さが評価されたものです。

また、今回受賞された作品は、雨が降る中で傘を差しながらスマートフォンを見つめる生徒の姿を捉えたもので、静かな時間の流れや日常の一瞬の美しさが柔らかく切り取られていました。雨粒が傘に落ちる音まで聞こえてきそうな、情緒ある一枚となっています。

入賞作品は2月22日（日）付の読売新聞山形版に大きく掲載され、多くの読者の目に触れました。生徒の活動が地域紙を通して広く紹介されることは、学校全体にとっても大きな励みとなります。

今回の受賞を受け、荒木さんは「これからも見る人の心に残る写真を撮りたい。」と新たな目標を語っており、今後のさらなる活躍が期待されます。



タイトル：「雨の日」

伊藤 広さん（2021年度卒） 快挙！ 東海大在学中に公認会計士試験合格

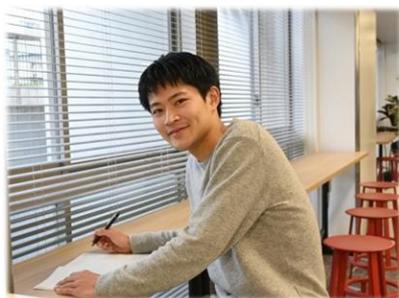
本校総合進学コースを2021年度に卒業し、現在、東海大学経営学部経営学科4年次生の**伊藤広**さん（天童三）がこのほど、**公認会計士試験に合格**しました。公認会計士は監査業務が行える唯一の国家資格で、金融庁が実施する試験は、年2回実施される短答式試験と、その合格者が受験できる論文式試験からなります。**合格率は1割に満たない難関**です。伊藤さんは、この難関試験に**在学中、現役で合格するという快挙**を成し遂げました。

伊藤さんは、その結果報告で本校に訪れた際に、様々なことを話されていきました。

「知識を脳にインプットすることよりも、**アウトプットの方法を工夫**しました。テキストを見て、ノートに書いてインプットすることは低強度（容易）な作業であって、効果的ではないと思います。例えば、テキストの目次にある項目をランダムに選び、それについて何も見ずに、中学生でもわかるように、友人や、時には部屋にあるぬいぐるみにも説明して、脳からアウトプットするトレーニングを行いました。**とても高強度な学習だった**と思います。この勉強に耐えられたのは、担任だった**矢島知樹先生**の厳しい化学の補習と、毎日の朝学習によって**良い習慣を身に着ける**ことができたからだと思います。またサッカー部では、**迷ったら自分の成長のために厳しい方向を選択しなさい**という指導のお陰で、安易な方向に進まずに最後まで継続して合格を勝ち取れたと思います。」と、高校時代に支えてくれた恩師や環境への深い感謝を示していました。

「公認会計士試験に合格してからの就職活動では、**サッカー部でインターハイ出場し、全国で勝利した**ことや、ポジションがボランチだということの評価され、**Big4の内定を勝ち取る**ことができました。面接において自分のバックボーンを語る際には、周囲は勉強しかやっていない人たちばかりだったため、**勉強だけでなくサッカーにも懸命に取り組んできたことが高評価**だったようです。」と在校生にとって示唆に富んだ内容で、勉強以外にも自分を磨くことの必要性も語ってくれました。

公認会計士として活動するためには、試験合格後に約2年の実務経験を積み、実務補習所に通い、修了審査に合格して登録する必要があります。伊藤さんは4月から大手監査法人（Big4の一つ）で実務経験を積むことが決まっており、「総合商社の監査など、責任ある仕事に関わるもことができそうで、今から楽しみです。将来はM&Aやベンチャー企業の上場などを手掛けたい」と意欲を語っていました。



今年度も本校からは、付属推薦制度を活用して**東海大学へ60名（医学部医学科2名を含む）**の生徒が進学しました。本校では付属校としての特性を生かし、将来の**大学進学を視野に入れた学習指導**、進学してからも**目標に向かって力強く進むことができる人間性を向上させる指導**を継続的に行っており、生徒一人ひとりが早い段階から進路を意識できる環境づくりに努めています。